

子育て応援の気運醸成事業 子どもの遊びの環境充実事業

子育てを楽しめる社会の実現

- 「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指し、まち全体で子どもと子育てを応援する気運の醸成を図るために、子育て家庭を応援する店舗・施設に関する情報発信や子育て応援イベント「みんなで子育てフェスタ」を開催しています。
- 子どもがさまざまな学びや遊び、交流などを通じて、豊かな人間性や社会性を身につけるとともに、その可能性を広げ、個性や能力を発揮できるよう、仙台市では多様な体験と活動の場、遊びの環境の充実に取り組んでいます。



子育て家庭にやさしい取り組みや子どもの遊び場の提供により子ども・子育てを応援する店舗・施設を「せんだいのびすくサポーター」として募集し、せんだいのびすくナビを通じて子育て家庭に発信しています。



子ども・子育てを支える民間団体や企業等が出展するイベント「みんなで子育てフェスタ」を開催し、地域社会全体で応援していることを子育て家庭が実感できる機会を提供しています。



自由な遊びを引き出すプレーパークの普及に向けた支援や担い手の育成に取り組むとともに、既存資源を活用した子どもの遊び場を地域と連携しながら展開し、遊びの機会を提供しています。

企業の皆様へのメッセージ

「子育てが楽しいまち・仙台」を実現するため、まち全体で子どもと子育て家庭を応援する気運の醸成を図るとともに、子どもの健やかな成長を支える遊びの環境の充実にこれからも取り組んでまいります。是非、ご支援をお願いいたします。





妊娠・出産・子育て期にわたる 切れ目のない支援事業

子育てを楽しめる社会の実現

- すべての子育て家庭が孤立することなく、子育ての喜びを実感できるよう、母子保健等に関する様々な事業を充実させ、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を進めていきます。



妊娠に関する相談支援

妊娠には不安や心配がつきもの。専門職がご相談に応じるほか、各種教室等を実施し、出産や育児に臨むための支援をしています。



産後ケア

出産後は育児の仕方に悩んだり、眠れなかったり… そんなときには産後ケア！専門職への相談や、心身のリフレッシュの機会をご提供しています。



乳幼児健診等

定期的な健診や個別相談のほか、就学前の発達相談を実施するなど、子どもの健やかな発育・発達を応援するため、切れ目のない支援を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

子育て支援に関わる主体の輪を広げ、
官民連携による「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指しています。



仙台自分づくり教育推進事業・ICT教育推進

子育てを楽しめる社会の実現

- 仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」は、児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むことをねらいとしています。
- これからの社会をたくましく、しなやかに生き抜く力を育むためにICTを活用した教育を推進しています。



職場体験活動

平成21年度から市内すべての中学校で3日間以上の職場体験活動を実施しています。将来に向けて、人や社会との関わりを大切にしながら働くということを意識させ、生徒の勤労観・職業観、自立の力を育んでいます。



仙台子ども体験プラザ （スチューデントシティ）

「スチューデントシティ」は一つの街を形成しています。児童はここで、働くことと、働いて得た給料によってモノやサービスを購入する消費活動、税金を納めたり、街づくりについて考えたりする市民としての活動などを行います。



子どもの可能性を広げる 教育環境づくり

ICTの活用を通じた情報活用能力の育成や、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む「仙台自分づくり教育」など、子どもの可能性を広げる教育環境づくりに取り組みます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台自分づくり教育は、子どもたちが望ましい職業観や勤労観を学び、変化の激しい社会の中でたくましく生きる力を育む教育です。どの事業においても、事業所や地域の方からたくさんの協力をいただきながら、充実した活動を続けてます。未来の仙台市を担う子供たちのために、ご支援、ご協力いただけたら幸いです。

防災環境都市づくり推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 「杜の都」の豊かな環境を活かし、東日本大震災の経験を踏まえながら、災害や気候変動などの脅威にも備える、しなやかで強靱な都市「防災環境都市・仙台」を目指しています。



【施策の柱】

- 防災環境まちづくり
- 防災環境ひとづくり
- 経験と教訓の伝承等



仙台防災未来フォーラムの開催

震災の経験や教訓を未来の防災につなげていくことを目的に、市民が防災を学び、日頃の活動を発信するイベントを開催しています。市民団体や学生、企業等による復興や防災、環境配慮などの多様な取り組みを、発表や展示を通じて市民の皆さまと共有する場となっています。



国内外への発信

東日本大震災を経験した都市、国際的な防災指針「仙台防災枠組」採択都市として、世界の防災・減災に貢献できるよう、国際会議への参加や海外からの視察受け入れ等を通じて、本市の取り組みを世界に向けて発信しています。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、安全・安心で持続可能なまちづくりを進めるとともに、「防災環境都市・仙台」として国内外から選ばれる都市となることを目指しています。防災は、国際的にも高いプレゼンスを発揮できる分野であり、市民や企業の皆様とともに取り組み、発信してまいります。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

震災メモリアル事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり



「震災遺構仙台市立荒浜小学校」は被災当時のまま保存・公開。

- 当事業では、過去に津波で大規模な被害を受けた「震災遺構仙台市立荒浜小学校」の保存・公開や、沿岸部地域への玄関口となる施設「せんだい3.11メモリアル交流館」の運営など、東日本大震災の経験と教訓を未来や世界へつなぐ取り組みを行っています。
- また、東日本大震災時の災害対応を経験した職員が減少していく中で、災害の経験を職員間で伝承し、今後起こりうる災害に備え、災害対応力に優れた組織風土を醸成するための取り組みを行っています。



「せんだい3.11メモリアル交流館」では、被災当時からの沿岸部の状況を写真で見ることができる。夏には沿岸部体験プログラムの実施も。



職員間伝承事業では、当時を知る職員の経験をまとめた資料を作成。災害対応に関する研修等で活用されている。



企業の皆様へのメッセージ

本市では、東日本大震災での被災経験を教訓に、災害に強いまちづくりを目指し、各種事業を行っております。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

脱炭素都市づくり推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 脱炭素社会を実現するため、市民や事業者との協働により、温室効果ガス排出削減に取り組めます。



脱炭素先行地域づくり

定禅寺通等の3つのエリアにおいて、再エネ・省エネ技術を集中的に導入し、既存建築物の脱炭素リノベーションを行うなど、全国に展開できるモデルの創出を図る「脱炭素先行地域」の取り組みを推進します。



家庭向けの取り組み

家庭からの排出削減に向け、本市独自の断熱基準を満たす住宅の新築や断熱改修に対して補助を行うほか、住宅への太陽光パネルの導入支援や、市民の脱炭素行動を促進するキャンペーン等を展開します。



事業者向け・公共施設の取り組み

事業者と市が協働して排出削減を図る「温室効果ガス削減アクションプログラム」の推進や脱炭素セミナーの開催など、中小企業者の脱炭素経営を後押しします。また学校等のZEB化や防災型太陽光発電システムの運用を行います。

企業の皆様へのメッセージ

脱炭素都市づくりに向けた様々な取り組みを推進していくために皆さまのご協力をお願いいたします。

ごみ減量・リサイクル推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

仙台市では「“杜の都の資源”を次の世代へ、持続可能な資源循環都市をめざして」というビジョンのもと、市民・事業者の皆さまとの連携・協働により、生活ごみ及び事業ごみの減量・リサイクルの取組みを進め、資源循環都市づくりを推進していきます。



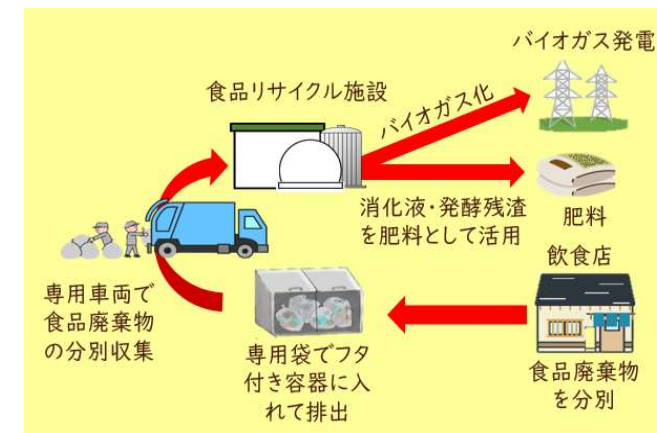
資源循環の「見える化」

資源循環を一層推進するため、企業との協働により、定禅寺通のケヤキの剪定枝と家庭から出されたプラスチック資源を混合してオリジナルタンブラーを製作するなど、市民にとって身近な製品へリサイクルする資源循環の「見える化」を推進していきます。



資源循環の人づくり

資源循環分野における人材育成、プロジェクト支援に向け、企業・団体・大学等と連携した参加型プログラムを実施し、資源循環の人づくりに取り組んでいます。



定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業

飲食店等から排出される食品廃棄物をリサイクルし、バイオガス発電の燃料や肥料として活用するモデル事業を実施することにより飲食店における食品リサイクルの仕組みを構築します。

企業の皆様へのメッセージ

喫緊の課題であるプラスチック資源循環をはじめ、資源循環都市づくりに向けた様々な取組みを推進していくために皆さまのご協力をお願いいたします。

東部地域みどりの再生事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- “杜の都”仙台の東部地域には防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林・居久根など、私たちの暮らしに必要な多様なみどりがありましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の津波により仙台東部地域のみどりは失われてしまいました。
- 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」は、これらの東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの杜」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして2014年からスタートしました。30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶・復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく息の長い震災復興のメモリアル事業です。



企業との共同植樹会



企業との育樹会



小学生との苗木づくり

企業の皆様へのメッセージ

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」では、これまで3,500人以上の参加を得て、2万7000本以上を植樹してきました。今後は植えた木を大きく育てる「育樹」を行いながら、プロジェクトを広め、杜づくりを通して震災の記憶と復興の過程を後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。

また、ふるさとの杜を活用した環境学習や自然体験活動を通して、より豊かな暮らしと憩いを目指します。

「ふるさとの杜」は「あなたの杜」です。一緒に東部地域のみどりの再生に取り組みませんか？

緑の保全事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 本市では、昭和48年3月に「杜の都の環境をつくる条例」を制定（平成18年6月改正）し、自然との調和ある環境の創造と杜の都の伝統ある風土を未来に発展させることを目指し、市街地の貴重な緑地を保全してきました。
- 「杜の都の環境をつくる条例」に基づき地域的美観風致上優れている樹木を保存樹木、保存樹林として、また、残れた民有地の緑を主体に土地所有者の理解と協力を得て保存緑地を指定しています。管理はそれぞれの所有者が行うこととしていますが、保全に係る経費の負担軽減対策として、指定交付金等の交付や各種市税の軽減、資材援助等を行っています。

※令和6年4月1日時点の指定状況：保存樹木176件（181本）、保存樹林19件 保存緑地40箇所（643.38ha）



保存樹木：秋保野尻のいちい・さくら
(H18.12.12 R2.8.25指定)



保存樹林：泉区上谷刈
(R1.12.26指定)



保存緑地：旗立保存緑地
(S50.6.5指定)

企業の皆様へのメッセージ

青葉山や広瀬川などの自然のみどり、社寺林や屋敷林などの文化的なみどり、市民の力で守り育てきた市街地を囲むみどり、そして、杜の都の代名詞となった風格ある街路樹など、仙台市にはこのまちならではの誇るべきみどりがあります。これらのみどりの保全と利活用にご支援ください。

担当：建設局 百年の杜推進課 TEL022-214-8392



杜の都の名木・古木（H29.3.31発行）

地域交通運行確保・運行支援事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 公共交通のサービスレベルが低い地域等において、通勤・通学・通院・買物等、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段の確保に向け、地域住民が中心となった取り組みを支援しています。



地域の実情に見合った交通となるように、地域住民が主体となり、運行事業者・仙台市と三者協働により、仙台市が派遣する専門家の助言を受けながら、地域課題の把握や地域の合意形成、運行計画など、丁寧に検討を進めます。



地域の検討組織は、引き続き専門家の助言を受けながら、具体的な運行ルートや停留所、運行ダイヤ、運賃などの運行計画を検討し、試験運行、実証運行を行い持続可能性を検証します。



実証運行で地域交通の効率性や持続性などが確認できれば、本格運行へと至ります。
地域の検討組織で継続的に収支状況を確認して利用促進の取り組みを実施し、必要に応じて運行計画の見直しを行います。

企業の皆様へのメッセージ

公共交通のサービスレベルが低い地域にお住まいの方々にとって、生活に欠かすことのできない移動手段の確保は大きな課題です。持続可能な地域の足の確保に向けた、地域の皆様が主体となった取り組みへの後押しをお願いいたします。

「Full Digitalの市役所」 推進事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 「ひと」を中心に据え、デジタル化によって利便性を高めながら、暮らしやすさの実現や新たな価値の創出につなげる「Full Digitalの市役所」の実現を目指します。
- 令和8年度までを「集中改革期間」とし、市民と市役所との接点の変革、市役所内部のDXを推進します。また、令和12年度までを「高度化期間」とし、多分野にわたるサービスの変革を実行します。



SENDAIポータル

SENDAIポータル

より快適に暮らせるまちづくりを目指すため、一人一人に合ったお知らせを発信し、気象情報や災害情報を速やかに発信するサービスです。今後、オンライン手続きなど、新たなサービスや機能を追加していきます。



DATA SENDAI PLATFORM

DATA SENDAIプラットフォーム

データを活用した新しいまちづくりの一環として、市の保有データのオープンデータ化を推進します。データ連携基盤を利活用しやすい環境を提供し、企業などの多様な主体による連携を促すことで、新たなサービス価値の創出に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市はデジタル技術の活用により、サービスの在り方を見直し、利便性を向上させ、業務の効率化・集約化を進めることで、「ひと」と「近く・濃く」ふれあうことのできる市役所へと変革します。

「Full Digitalの市役所」の実現により、本市にかかわる全ての「ひと」の豊かな暮らし・活躍を支え、その幸せに繋げる本市の取り組みを、企業の皆様に応援していただきたいと思います。

「せんだい My Health Log」

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 本市では、健康寿命の延伸を目指し取り組んでおりますが、メタボリックシンドローム該当者・予備群が多い状況が続いていることから、市民一人ひとりの健康状態の改善には、個人の健康状態やライフスタイル等に合わせた健康づくりにつながるサービスが必要です。
- そこでPHR（※）を活用し、市民の皆様が、楽しく健康づくりを実践できるようPHR利活用による健康づくりプロジェクト「せんだい My Health Log」を実施しております。



本プロジェクトは、市民が健診結果や歩数、食事記録などのパーソナルヘルスレコードを管理できるアプリ等を活用し、健康情報の取得・見える化等や個人に合わせた健康づくりに関するレコメンド等により、「楽しく」「誰でも」「手軽に」健康づくりに取り組めるような仕組み・仕掛けづくりを目指します。

東北大学東北メディカル・メガバンク機構や民間企業など、産学官が連携しながら本プロジェクトを推進しています。

※ PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）とは、Personal Health Recordの頭文字をとった略語で、個人の健康・医療・介護に関する情報。個人の健康・医療・介護に関する情報を一人ひとりが自分自身で時系列的に管理・活用することによって、自己の健康状態に合った優良なサービスの提供を受けることができることを目指すとされています。（参考：公益財団法人長寿科学振興財団 長寿科学ネット）

企業の皆様へのメッセージ

生活習慣病の予防が社会課題となっている今、一人ひとりの心身の健康は、都市としての活力・魅力、地域発展にもつながると考えており、賛同いただける企業の皆様からのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ハナミドリエ事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり



令和5年に開催した第40回全国都市緑化仙台フェアでは、115万人を超える方々にご来場いただき、仙台のまちを花とみどりで彩るため、多くの市民の皆さまにボランティアとしてご参加いただくとともに、市民団体や企業などにもご参画いただきました。フェアを通じて育まれた緑化意識や人と人とのつながりはまさにレガシーと呼べるものであり、この機運を未来に引き継いでいくため、緑化フェアのレガシー事業として令和6年9月に未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」事業がスタートしました。



ハナミドリエは、
花とみどりで、人と人、人とまちがつながる
花とみどりのネットワーク・プロジェクトです。

緑化活動をしたい個人や市民団体、緑化活動を通じて地域貢献をしたい企業などを、緑化イベントなどを通じてマッチングさせ、ネットワークを強化することで、本市が掲げる「百年の杜づくり」を推進します。

■取り組みのイメージ

【お悩み①】
人手が足りない…
⇒花植えイベントを開催して
人手不足を解消！



【市民団体】
美しい花壇を
作りたい！

【お悩み②】
資金や資材が足りない…
⇒苗や肥料、道具を提供



【企業】
緑化活動で
地域貢献したい！

【市民】
花植えイベントに
参加してみたい！



イベントなどを通して
多様な主体の連携をサポート！



仙台のまちを
花とみどりのチカラで
もっとワクワク、イキイキするまちに、
もっとステキでオシャレなまちに



企業の皆様へのメッセージ

このプロジェクトは、個人、市民団体、企業など、さまざまなレベルで参加できるのが特徴です。
ハナミドリエの“リエ”はフランス語でつなぐという意味。
花とみどりがたくさんのつながりを生み出します。
ぜひ、花とみどりのチカラで、仙台のまちを彩る取り組みと一緒に始めてみませんか。

文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

“伊達”な文化をはじめとした歴史・風土を礎として、官民一体となって、仙台市ならではの多彩な文化芸術活動を展開しています。



伊達家も振興に力を注いだ能楽の普及
に向けた取り組み

左：能公演「仙臺能」
右：こどものための能講座



文化芸術による社会包摂の取組み
上：障害のある人もない人も
一緒に楽しめるコンサート
「リラックス・パフォーマンス」
下：社会包摂に係る取組みへの助成
※写真はR6年度採択事業：
手話通訳があるダンスワーク
ショップ



次代を担う子どもたちの豊かな感性を育む事業
左：学校や保育所等にアーティストを派遣する
アウトリーチ事業
右：仙台フィルの楽団員が指導する
「ジュニアオーケストラ」の運営



仙台クラシックフェスティバル
低額な入場料・多彩なプログラム・短い公演時間をコンセプトに、誰もが気軽にクラシックの名曲を楽しむ音楽
フェスティバル



仙台国際音楽コンクール
3年ごとに開催するピアノとヴァイオリンのコンクール。
仙台をキャリアの出発点として世界へはばたく若手音楽家
を支援

企業の皆様へのメッセージ

年齢、心身の特性、社会的文化的背景等に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる機会の充実を図るとともに、文化芸術の持つ多様な力を、教育・福祉・観光等の様々な側面に活かし、広くまちの活力向上につなげます。

ダイバーシティ推進事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 東北大学の国際卓越研究大学への認定などにより、今後、本市においても海外からの留学生や研究者といった外国人住民の増加が予想される中、さまざまなちがいをプラスに変える視点を持つことが重要です。
- 本市の多様性を尊重する歴史・文化や市民協働といった都市個性を踏まえ、世界を視野に調和のとれたダイバーシティまちづくりを進めます。



仙台市ダイバーシティ推進会議

ダイバーシティまちづくりに向けた指針を策定するため、年齢・性別・国籍・専門分野など様々な有識者により構成される「仙台市ダイバーシティ推進会議」を開催し、活発なご議論をいただいています。



外国人向け国外転入特設窓口

外国人転入シーズンに合わせた実証事業など、喫緊の課題に対応するための取り組みを進めています。

企業の皆様へのメッセージ

本市の歴史・文化や都市個性への誇りと愛着を土台とし、これを尊重しながら仙台にふさわしい多様で調和のとれたまちを目指して実践を重ねる、「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を進めてまいります。